



令和3年5月1日現在

人口	14,282人
男性	6,904人
女性	7,378人
世帯数	6,778戸

本郷地区町会連合会長に就任して



本郷地区町会連合会長 若林 哲男

この度、経験と実績豊富な田口悦久前会長から、本郷地区町会連合会長をお引き受けした、惣社2丁目町会長の若林哲男です。

大変な重責を担うことになりました。微力でもあり、力不足を感じながらのスタートでございますが、精一杯取り組む覚悟です。皆様のご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

昭和49年に本郷村は松本市と合併し、3年後の令和6年5月1日で50周年を迎えます。この50年間の本郷地区の歩み



を記録として留めるため、現在、50周年記念誌編集委員会を中心に「記念誌あゆみ」の発行に力を注いでいます。

また、少子高齢化が進む中、安全で安心できる本郷地区を目指して地域福祉活動等は継続していかねばなりません。さらに東山部エリアの総合的な整備計画も課題として残っています。今後も地域住民一体となって要望を重ねていくことも大切な役割と認識しています。

その他様々な課題がありますが、本郷地区26町会の町会長の皆様と手を携えて取り組んでまいります。



館報編集作業の様子

公民館は、まさしく人々が集い、活動する場なのですが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ほとんどの事業やイベントが縮小あるいは中止となり、館報に紹介できないことも多くありました。

今年度も、どの程度イベント等の活動が実施できていくか不透明な部分もありますが、地域の事業などを紹介する公民館報を通じて地域住民の結びつきを強める一助となれると思いますので、どうぞよろしくお願いたします。



皆さんのこれからの人生、色々なことが起こるでしょう。嬉しい事、楽しいこと、辛い事、苦しい事、たくさん経験すると思います。

嬉しい時には自分を律して、悲しい時には必ず幸せが訪れるものと信じて、腐ることなく、毎日明るく元気に過ごしてほしいと思います。



本郷地区公民館報 編集委員長に就任して

館報編集委員長 須山 泰男 4月

から本郷地区公民館 報編集

委員会の委員長に選任された浅間温泉第6町会の須山泰男です。

公民館は住民のために実生活に即した教育・学術・文化に関する各種事業を行う施設で、公民館報は、それらの公民館事業の広報活動を行うものです。

公民館は、まさしく人々が集い、活動する場なのですが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ほとんどの事業やイベントが縮小あるいは中止となり、館報に紹介できないことも多くありました。

今年度の成人式は1月から5月に延期になり、そして中止が発表されました。

成人式で成人したことを実感し、同級会で恩師や同級生に会うのを楽しみにしていたことでしょうか。

「人間万事塞翁が馬」と言う古代中国の故事があります。「なんて不幸だ!! ついてない。」と思っていることが、結果的には、そのお陰で良かったことがある。その逆に、「なんて幸せだ!! ラッキー。」と思っていたことが、禍や幸運は、予測ができません、人生は何が起こるか分からない。だから一喜一憂する必要はないということをお話しています。

今西 古東 成人おめでとう

第2弾

6/28 月	公民館講座 (ホテル観翠堂)
7/15 木	ナイターグラウンドゴルフ大会
7/28 水 9/16 木 10/26 土	本郷公民館心理学講座
8/28 土	文化施設視察
9/4 土	町会対抗マレットゴルフ大会
9/8 水	図書委員会文化講演会
10/21 木	町会対抗クラブゴルフ大会
11/12 金 11/14 日	本郷地区文化祭
12/11 土	ふれあいコンサート
2/2 水	図書委員会文化講演会
3/12 土	本郷里山トレッキング
3/19 土	本郷地区山林火災20周年講座

8/11 水 8/13 金	浅間温泉夏祭り
8/14 土 8/16 月	浅間温泉夕市
10/9 土	浅間温泉松明祭り
11/6 土 11/7 日	浅間温泉新そば祭り
1/7 金	初庚申 浅間温泉だるま市

※新型コロナウイルスの流行状況等により、予定が変更、中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

合併50周年特別企画

原町会の今昔あれこれ

本郷村が松本市に合併した頃の原町会は、女鳥羽中学校の周辺農地で宅地造成が進み、新たな若い世帯が町会に加入し、新旧住民の協力により、活気ある町会運営がなされてきました。

代表的な例は、今年で45回を数える親睦大運動会であり、多くの小中学生や大人が参加した常会対抗リレーは花形種目で、多くの住民の声援が女鳥羽中学校のグラウンドに響き渡り、町民の一体感を醸し出す一大行事でありました。

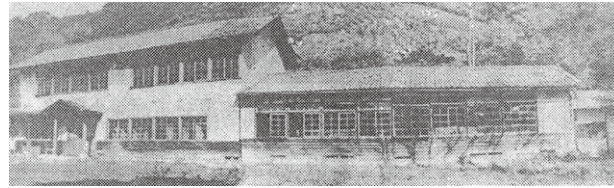
しかし、ご多分に漏れず少子高齢化の波は原町会でも例外ではなく、近年のプログラムはそれなりの無理のない内容に変更され、町会の皆さんの協力で支えられ、運動会は継続されています。

一方で、最近の原町会には明るい大きな変化が生じています。女鳥羽川右岸の東部学校給食センター周辺の水田が大規模宅地造成され、以前は初夏になるとホテルが舞い踊っていたところが新興住宅地として生まれ変わりました。新しい常会名は「下河」と

50年によせて

言いますが常会の若い役員さん達や増えた子どもたちが、町会活動に新たな息吹を吹き込んでくれることを期待しています。

三稲分校が本校へ統合



三稲分教場全景 (昭和33年撮影、本郷村史より)

昭和30年に三稲分校(三稲分教場)が本校(本郷小学校)へ統合

する話題がおき、地元PTAが参観日や会議を設けてアンケート等を行い、その結果地域の皆さん

の理解を得ることにになりました。児童は、4年生以下はスクールバスで、5年生6年生は徒歩で通学したと聞いています。私が小学2年生になった時に、三才山、稲倉の児童が本校に通学するようになった関係で、児童数が増え、クラスも3クラスから4クラスと

なったことにより、本校の児童が1年生から2年生に上がる際にわずか1年でクラス替えになったと記憶しています。

三稲分校との統合により児童数が増えたことで、児童は学校生活の雰囲気慣れるまで少し時間がかかったと思います。しかしそこは子どものこと、すぐみんなど解けあい仲良くなって勉強、遊び、い

大村の移り変わり

たずらをして先生に怒られたことなど、65年前ではありませんが、走馬灯のように浮かんで思い出となっています。

合併した当時、私はまだ子どもの頃で、あまり記憶がないというのが本当のところ。ただ、本郷村から松本市になり、『村民』から『市民』と呼ばれるようになったことを、友達と話していたことが思い出されます。

その頃は、今のようなゲーム機や通信機器などがなかった時代でしたので、遊びはもっぱら屋外ばかりでした。近くの山や川、家庭やお宮の広場などで、暗くなるまで遊んでいました。今でも自然あふれる地域ですが、数年前から緑一面の山々が、松くい虫による被害で茶色の山肌が出てお

り、本当に残念な状況になっています。いずれは緑あふれる山々に再生していかねばならないと思います。

さて、合併当時から大きく変わったことと言えば、Jリーグの『松本山雅FC』も使用している『松本市かりがねサッカー場』です。ここには雁金池(通称・月見が池)という池がありました。

ボートが浮かんでいたことや、噂ではウインドサーフィンをしていた人を見たという、結構大きな池がありました。そして、市営競輪場となり、更には運動場、そしてサッカー場へと変遷していきました。

近くには野球場、体育館、テニスコートなどもあり、スポーツ施設が集中してきている中、この自然あふれる環境をこれからも大切にしていきたいと思えます。

掲示板の新設によせて

浅間温泉第3町会では最近掲示板を新しくしました。

記憶にあるのは、現在の松本十帖の喫茶店があるところ「旧むつみの湯」です。

小さな掲示板でしたが、後ろが板塀だったので、ポスター等もそちらに貼らせてもらっていました。喫茶店が開店す

る際、関係者のご協力で移設しましたが、長年使ってきたためすっかり古くなってしまいい、屋外で屋根もガラス戸もついていないため、風雨にさらされて掲示したものがボロボロになったこともあり、ガラス戸付きの新しい掲示板に更新しました。

掲示板は、集合住宅や公民館等の入り口にあつて、大勢の人に地域のお知らせなどいろいろな情報を提供してくれます。インターネットやメールの利用が一般化する中で、地域の大勢のひとの目に触れ、一定期間自由に見ることができるとはいいえ貴重なものではないでしょうか。

新設した掲示板に最初に掲示したものは、本郷公民館で書道習っている小学生が、大音寺山の火災を教訓にして書いた「火の用心」です。



浅間温泉第3町会の掲示板

これからもっと地域に根ざした情報を掲示していきます。

この記事をお読みの皆様も、一度お近くの掲示板をご覧になってはいかがでしょうか。